



2023年度 JICA筑波 教師海外研修募集要項

研修国：ラオス

日程：8月6日（日）～8月16日（水）

応募締切：2023年5月22日（月）必着



主催：独立行政法人 国際協力機構 筑波センター(JICA 筑波)

後援：外務省、文部科学省

茨城県教育委員会(申請中)、茨城県高等学校国際教育研究協議会(申請中)

栃木県教育委員会(申請中)、栃木県私立中学高等学校連合会(申請中)

公益財団法人栃木県国際交流協会

研修の目的

本研修は、国際理解教育/開発教育に関心を持つ学校教師及び教育委員会の指導主事等(以下、「教師」という)を対象に、実際に開発途上国を訪問することにより、(1)開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、その成果を、学校現場での授業実践等を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立ててもらふこと、(2)研修参加後、JICA 筑波と協力し、教育現場等で国際理解教育/開発教育を推進する中核となってご活躍いただくことを目的として実施します。

研修日程 ※内容、開催場所等については若干変更する場合があります。ご了承ください。

SEMINAR	DATE PLACE	CONTENTS
派遣前研修	6月24日(土) および7月8日(土) (JICA筑波)	JICA 事業・研修概要・研修国事情等の説明(日程・安全管理)、渡航手続き、交流授業準備、過年度参加者との意見交換、ワークショップ等
海外研修	8月6日(日) ～8月16日(水) (ラオス)	JICA 事業(技術協力プロジェクト、ボランティア事業等)の見学及びJICA 関係者との交流、現地の学校訪問、生活体験、教材等の収集
帰国時研修	8月26日(土) (JICA筑波)	海外研修の振り返り、情報共有、今後の授業案作り
授業実践	10月～12月 (各勤務校)	研修で得た情報・教材をもとにした授業実践
報告会 (栃木)	2024年1月下旬 ～2月の土曜日 (とちぎ国際交流センター)	海外研修報告/授業実践報告
報告会 (全体)	2024年2月3日(土) (JICA筑波)	授業実践報告および意見交換

応募資格 | 次の条件をすべて満たすこと

- 茨城県、栃木県内の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校(1～3年生を担当)、特別支援学校の教員及び教育委員会の指導主事の方。
- 年齢が原則満 50 歳以下(2023 年 5 月 22 日現在)。
- 所属する学校の校長もしくは教頭(教育委員会であれば所属長)の推薦があること。
- 過去に、本研修、JICA ボランティア事業、JICA 専門家等及び ODA モニター/国際協力レポーター等で海外に派遣された経験がないこと。
- 本研修の趣旨・目的を十分理解し、同研修の実施及び、以後 JICA が実施する国際理解教育/開発教育支援事業に継続的に協力可能であること。
- 原則として、国内研修及び海外研修の全行程に参加可能であること。
- 研修国の事情を勘案した上で、参加するに耐えうる健康状態であること。
※参加決定者には、健康に支障のない旨の確認書をご提出いただきます。
- 帰国後、2 週間以内に海外研修報告書を提出することに同意すること。
- 帰国後、本研修の定めた期間内に所属校において授業の実践を行い、当該授業の実践報告書を提出し、JICA のウェブサイトにて一般公開されることに同意すること。
- 参加者メーリングリストでの情報共有に賛同いただけること。

※応募者多数の場合は、JICAが実施する国際理解教育/開発教育支援事業の参加経験者を選考の際に優先いたします (応募書類の「JICA主催の事業について」に可能な限りご記入下さい)

教師国内研修 | 1年間の流れ

5/22

応募締め切り

選考期間：5月23日（火）～6月9日（金）

一次選考（書類審査）：5月23日（火）～6月2日（金）

二次選考（面接）：6月5日（月）～6月9日（金）

6/24
7/8

派遣前研修

国内事前研修では、JICA や ODA についての知識に加え、海外研修の訪問国の現状、開発課題等への理解を深めるとともに、研修後の授業立案に向けて、国際理解教育を実践するためのスキルアップを図ります。また安心して渡航できるよう安全管理、予防接種、査証等についてもご説明いたします。



8/6
～8/16

海外研修

海外研修では JICA や NGO のプロジェクト現場や JICA ボランティアの活動現場を訪問するほか、現地学校の児童・生徒との交流授業や現地マーケット等で教材研究のための素材収集等も行います。



8/26

帰国時研修

海外研修を振り返りながら、それぞれの情報を共有します。今後、授業でどのように伝えていくか、アイデアを出しながら参加者全員で授業計画を考えます。



9月
～12月

授業実践

それぞれの所属校で国内・海外での研修での学びや体験を生かした授業を実践していただきます。子供たちが何を知り、どう行動することを目指すのか、海外での経験と国内での研修の成果をいかに発揮してください。



1月
2月

報告会

「海外研修で何を学び、どう授業に生かしたのか」
「その授業を受けた児童・生徒が何を感じ、何を学び、どんな変化がみられたのか」「実践を通じてさらに何を考えたのか」など、国内外での研修の成果を報告します。



参加費用

参加者自己負担経費

- ・ パスポート取得にかかる費用
- ・ 予防接種料(必要に応じて)
- ・ 現地での宿泊費及び食費
(※目安として、宿泊費・食費で10万円程度)
- ・ 追加保険の加入費用
- ・ その他個人目的の経費

JICA負担経費

- ・ 海外研修時及び出発空港までの往復交通費
*国内の交通費はJICA規定によりお支払いします。
- ・ 査証代、空港使用税
- ・ 往復渡航費(含トランジットの際の宿泊費)
- ・ 海外旅行傷害保険加入費(JICA規定分)
- ・ 海外研修に必要な費用(車両備上等)

募集人数

8名程度

研修国

ラオス人民民主共和国

応募方法

応募用紙に必要な事項をご記入の上、**2023年5月22日(月)必着**で末尾の【お問合せ・お申込み】の宛先まで**郵送**ください。

※ご応募の際は所属長の推薦が必要です。

※お送りいただきました応募用紙及び写真は返却いたしませんので予めご了承ください。

※応募用紙はJICA筑波ウェブサイト(「JICA筑波教師海外研修」で検索願います)からもダウンロードできます。ただし押印が必要なためデータでの応募はできません。

選考及び決定通知

提出書類に基づき選考を行います。面接は必要に応じ実施します。

選考結果は6月中旬までにご本人および推薦者/所属長宛に直接文書を発送いたします。

報告書の提出

1. 「海外研修報告書」帰国後、2週間以内に提出していただきます。
2. 「授業実践報告書」研修で得られた経験・成果を授業もしくはクラブ活動で実践した報告書(授業実践例)を2023年12月上旬までに提出していただきます。
※授業実践報告書は、「教師海外研修報告書」として編さんの上、一般に配布されます。またJICAウェブサイトでも公開されます。

その他注意事項

1. 年休・研修等、研修中のサービスの扱いは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認ください。
2. 本研修では、JICAにおける労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いにて参加される場合は、各所属先の責任において参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
3. 現地の治安状況等により、研修国や期間を変更することもあります。
4. 現地での宿泊施設については安全面を考慮し、JICAで手配決定することを予めご了承ください。
5. 面接の際にかかる費用、および申込書の送料は自己負担となります。また提出いただいた申込書は返却いたしません。
6. 申込書に虚偽の記載内容が含まれている場合は、選考後でも参加資格が取消になる場合があります。

※研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける、あるいは決められた活動参加する意思がないと判断される方については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失うことがあります。海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合は、移動・滞在費等に係るキャンセル料等、および帰路の旅費も当該者の負担となりますのでご了承ください。

【お問合せ・お申込み】※ご不明な点は、お気軽にお問合せ・ご相談ください。

JICA筑波 開発教育支援事業運営事務局 教師海外研修担当：張(ちょう)

〒150-0012 東京都渋谷区広尾5丁目23番5号長谷部第一ビル402 特定非営利活動法人SALASUSU

TEL : 080-9879-7999 E-Mail : jica_deved@salasusu.com